モノレール治線で工事をされる方へ

近接工事協議のご案内





沖縄都市モノレール株式会社



事故防止のご協力をお願い致します

モノレール沿線での工事の危険性(事故の事例)

モノレール軌道、駅舎などの構造物に近接して行う工事を近接工事といいます。 近接工事では、ちょっとした「ミス」や「不注意」によって多大な列車事故を招く恐れがあります。 その為、工事、作業等を行う場合は、事故防止を図る目的で事前に当社と協議をさせていた だいております。ご理解とご協力をお願いします。

※ 事故を起こした場合、事業者または責任者が刑罰(往来を妨害する罪など)や 行政処分を科される場合があります。

工事の区域紹介

モノレール沿線には工事規制があります。特に重機を使用する工事においては、事前の協議が必要となります。 工事事例:クレーンやポンプ車を使用しての建築工事、バックホウによる掘削作業、高所作業車を使用 しての電柱工事、ユニック車運搬による草刈り業務など

営業時間外の工事区域

区域図の中央側(桃色)の範囲で行う工事。モノレールの安全運行への影響が大きく、営業終了後の工事となります。詳細な協議が必要となり、早目の連絡をお願いします。

営業時間内の工事区域

区域図の外側(黄色)の範囲で行う工事。また、この区域より外側になるが重機を使用する工事。 モノレールの安全運行への影響が小さいと思われるが、安全対策などの協議が必要となります。 (※但し、使用する重機の可動範囲も区域内とする。)

その他の区域

区域図の下側(水色)の範囲で行う工事も協議が必要になる場合があります。特に重機を使用する工事。



列車・線路との接触!!

列車、線路(桁)と重機の接触(クレーン、 バックホウ、建柱車、高所作業車など)



モノレールが運行出来なくなり、多大な 影響を及ぼし重大な事故になります。



電車線接触による感電!!

電車線と重機の接触による感電(クレーン、バックホウ、建柱車、高所作業車など)



電車線には1500Vの電気が流れており、 感電すると非常に危険です。



工事用具の飛散

・ 工事用具の飛散(ビュールシート、養生シートなど)



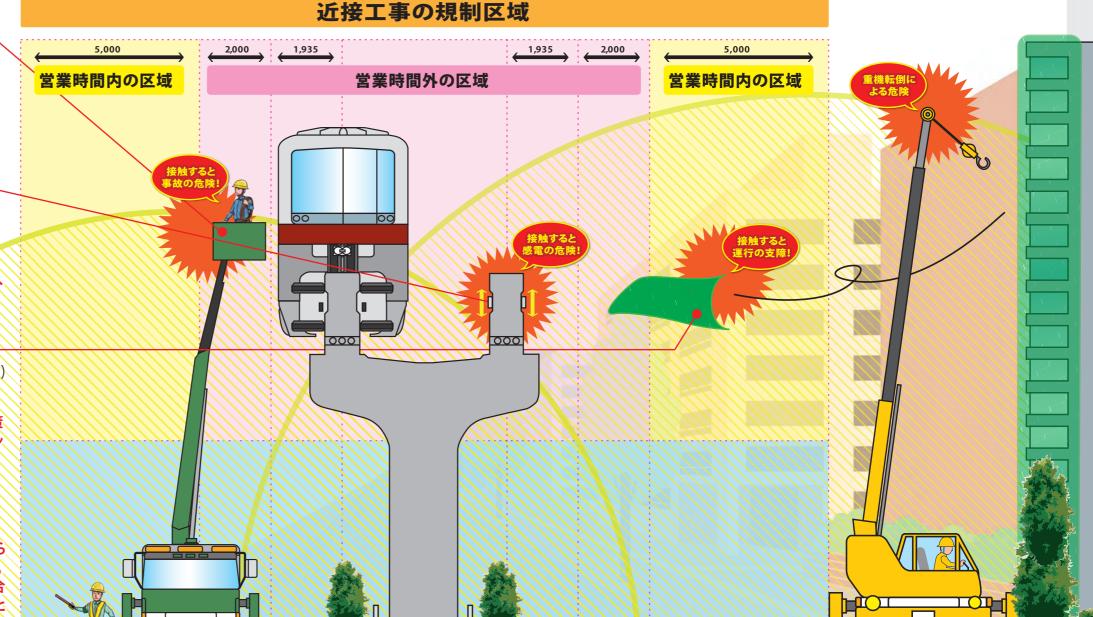


モノレール沿線の工事にて、台風・強風対策 をしっかり行っていないと、用具等がモノレール の施設に飛散し、運行ができなくなります。

それ以外にも…



地上から大丈夫と思っても、運転席(上空)からは近く感じ急ブレーキをかけることがあります。 この時、車内にいるお客様が転倒した場合 人身事故になります。また、列車が止まると ダイヤが乱れ、運行に多大な影響が出ます。



協議の流れ(事前に、正確に、安全に)

- 近接工事に関しての注意事項、連絡体制などについて協議を行います。
- 現場責任者が協議を行うようにして下さい。
- 用意して頂く資料
 - 1. 工事内容がわかる資料(施工計画書など)
 - 2. 図面(モノレール設備との離隔がわかる図、現場の平面図・断面図)
 - 3. 使用する重機のカタログ(性能表など)

当該事業者





大規模近接工事

- ・ 構造物、モノレール無線設備への影響検討、協議
- 変状計測計画、協議
- ・安全防護、その他関係者事項協議

小規模近接工事

・安全防護、連絡方法、緊急時の 対応などの打ち合わせ





完了・対策後、工事実施

※大規模近接工事 · · · · 大規模構造物建設、高層ビル建設、路盤開削、地下構造物埋設 などの工事。モノレール構造物(支柱、駅舎等)や無線設備への

影響が考慮される。

※小規模近接工事 ・・・ 大規模近接工事ではないが、クレーン、高所作業車などの重機

を使用する工事。モノレールの安全運行への影響が考慮される。



沖縄都市モノレール株式会社 業務部 施設課

TEL . 098 - 859 - 2738 (第一優先)

TEL . 098 - 859 - 2977

● 携帯番号 (不在時対応) TEL . 090 - 7585 - 1001